

Young Entrepreneurs Group of
The Fukui Chamber of Commerce and Industry

YEG FUKUI



vol. **88**

発行日/平成10年10月1日発行

発行所/福井商工会議所青年部

福井市西木田2-8-1

TEL: 0776-36-8111

FAX: 0776-36-8588

発行者/田中 義乃

編集者/山岸 寛士

福居

福井商工会議所 青年部会報



CONTENTS

- インタビュー 2
地ビール 越前ブルーワリー
- 経済人インタビュー 4
福井経済同友会 岡田 章代表幹事
- 緊急報告 今、青年部が危ない 10
活動アンケート結果報告
- 海外旅行記 12
あじさい会 会長 淡島 洋

福井産 地ビールレストランに直撃インタビュー お客様に、社員に夢を!

今回は、福井・嶺北初の地ビールレストラン、福井市大和田の越前ブルーワリーにお伺いしまして、社長の富永隆盛氏に福井産地ビール工場について、忌憚なく語っていただきました。越前ブルーワリーは、ゆけむり温泉「ゆ〜遊」をはじめ、焼肉ハウス「海賊船」を運営している、株式会社ドリームユースの多角経営展開の中で生まれた会社です。

新たな業種にチャレンジ!

■起業のきっかけは?

まず、酒税法の改正と、世間一般にいうところの、規制緩和の流れを受け、地ビールという新たな業種に挑戦して行きたいと考えました。

■人づくり、社員教育について

同社の社員の平均年齢は、20代で活気があるが、会社において、一人一人の若い人が何でも意見を出しあえる環境づくりが大切です。人と人の対話から、自己啓発を受け、相手を尊重する姿勢を学ぶ。このことが、おのずと、社内の人材育成の出発点となります。また、「ドリームユース」という会社の名前の由来は、社員に対して、お客様に対して、常に夢を与え続けられる会社であってほしいという願いを込めて名づけました。



■大和田という立地については

建設にあたって、いくつかの候補地を考えていたが、ある程度まとまった面積の土地となると、市中心部では難しく、郊外北部の国道8号線に近い場所を考えていた。よく隣りの教会(結婚式場)が、ブルーワリーの施設のように言われるが、建物の所有者は別々であって、たまたま、教会の建築設計者とブルーワリーの設計者が同じであって、統一感があるからだと思いません。教会との関連で、結婚式のあと、パーティーがこちらで開かれることも度々あります。



水は九頭竜川の伏流水、 ビールは生きた素材を使う料理だ

■地ビールを製造する上での苦労は?

まず、地ビールとは、生ものであるという認識です。私どもも、地ビールを作ってみるまで、ビールは、工場で作られ、そこでビン詰めにもされたり、缶詰めにもされたりして、何となく、清涼飲料水のように、味の経年変化のしないものと思われてきました。しかし、実際ビールというものを作って、飲んでみると、その味たるや、タンクから、ビールが出てくる口までの配管を冷却するか、しないかだけでも味は違うし、取り出すタイミングによっても随分違う。飲料物というより、生きた素材を扱っている料理という感じですね。

地ビールのおいしい期間は、2週間程度で、しかもその2週間の間でも微妙に味が変わって来ます。本当においしいビールを飲んでいただくには、ここに来て味わっていただくしかありません。少しでも入れ物に入れ変えたり、移動したり、振動を与えたりしますと、味が変わってしまいます。

このビール工場を立ち上げるにあたっては、エド・トリガイという、世界で5指に入るといわれるビール



職人の指導を受け、初めは手探りの状態でしたが、今では自信を持ってお勧めできるビールが完成しました。原材料は、ホップ・モルト・大麦を使用しています。モルトの焙煎の仕方によって、琥珀色のビールから、黒ビールまで、色々ラインナップが出来上がり、今後も豊富に商品を取りそろえて行きたいと思えます。

それから、よく水がお酒の味を決めると言われますが、ビールについても全く同じで、私どもは、深さ90mの井戸を掘りまして、九頭竜川の流麗な伏流水を源水として使っています。

■今後の展開は

価格については、市販されているビールに比べてまだ高いですが、販路を広げてたくさん出せば、もっと手頃な価格にする事は可能だと思います。

ビールというと、夏物商品ですが、季節の端境期においても、その季節にあった、ビールの開発を進めて行きたいと思えます。季節のおりおりにおいて、ビアフェスタや、クリスマスイベントを随時開催してゆき、福井の地ビール文化を育てて行きたいと思えます。

* * * * *

○インタビューを終えて

今回の対談を通じて、富永社長の福井に対する大きな愛着と、地ビールという新しい分野に挑戦する、溢れる気概を強く感じました。



経営者は率先垂範・ 皮膚感覚で時流をつかみ取れ!

福井経済同友会 岡田代表幹事に訊く

今回の対談は、福井経済同友会代表幹事で、福井日産自動車販売社長の岡田 章 氏に、福井市中心市街地の活性化、連合都市圏構想、これからの経営者のあり方などについて伺いました。

こよなく福井を愛し、その熱い語り口からは強烈なリーダーシップと、一面見せる、暖かく気さくなお人柄を垣間見る事のできたアツという間の1時間半でした。お相手は当青年部田中義乃会長がつとめました。



●田中：県都の顔、福井駅周辺の活性化について我々青年部では各団体や個人、行政との共通認識に立ったネットワーク化を進めておりますが…。

○岡田代表幹事：結局は誰がやるんだという問題になる。成功した事例を見ても、個人の強力なリーダーシップ、そして行政のバックアップが必要

です。そして、実際に行動を起こして、具体的に何かをやっつけていかないとけません。市民はわがまま。そこに魅力がなければ集まらない。

個人的には、駅前に“そば屋横丁”が欲しい！都会の人を福井に招待してどんなに豪華な会席料理でもなくても、後日再会すると「岡田さんあの時最後に出された、そばがうまかった！」とよく言われるんです。越前そばは誇れるんです。それが福井らしさ、福井の魅力、福井の強みですよ。

そして、高架下には市民の市場が欲しい！街の起こりは市（いち）、そこに人が集まり街が栄えた。別にきれいでなくてもいい。ツツカケ、普段着で気楽に買い物ができるような…。

実際にはまずイベントから初めませんか！お金かけずに皆に協力してもらって。それが月に一度になり、高架下ができる頃には常設になる。市長には先頭を立て呼び込みをやってもらいたいですね。（笑）

それから、駅舎を見直す必要があります。単なる交通の拠点ではなく福井市民が集まる駅、市民の交流の

拠点としての魅力的な駅舎がほしい。

●田中：さて次に福井市、鯖江市、武生市の連合都市圏構想について伺います。

○岡田代表幹事：3市で定住人口は39万人、周辺の交流人口含め、50万のエリアを形成していこうという構想です。今までのように3市が単独で都市機能の整備に取り組むのではなく、3市がそれぞれの地域の特色や個性を活かしながら、役割を分担し相互に提携をしようという事です。そして、既存の施設を活かし、新たな、居住地区、商工業、文化、スポーツ、娯楽といったゾーニングのなかで機能の集積を図れば、人口の定住を促進し、そして圏域内外の交流が活発になるわけです。さらに、3市連携のもと、他都市との交流を行ったり、国際的イベントを誘致、開催することなどを通して、世界に情報を発信できます。また、3市の特色を活かした交流イベントを行う事で新しい産業が生まれたり、住民、行政との一体感をも図れるわけです。

●田中：最後に激動の時代にこれからの若手経済人に望むことを教えてください。

- 岡田代表幹事：じゃあ、簡潔に言うと、
- ・この世紀末3年間で、過去30年間と同じほどの激変がある。覚悟せなあかん。
 - ・せこいことはするな！すぐばれてしまう！
 - ・直球勝負で行け！逃げたらあかん！
 - ・国際的感覚を身につけ、企業の倫理観を確立せよ！
 - ・経営者はもっと真面目に！もっと真剣に！率先垂範に心掛けよ！
 - ・幸せの価値観が変わった…家族の幸せを見直せ！



福井の街づくり「いっしょにやりましょうや、青年部の皆さん」

（文責：メディア委員会）

8月度メディア委員会・研修

見やすく、わかりやすい誌面づくりをめざして



去る8月4日、メディア委員会は総勢11人が「月刊ウララ」でお馴染みの(株)エーアンドエス様の編集部におじゃまして、自称“ウララと歩んで10年”の編集担当森川美樹さんに『インパクトのある記事の書き方について』と題し、いろいろとご教授いただきました。

青年部会報“福居”の企画・発行を任務とする我々メディア委員会にとっては、大変貴重な森川さんの話に、皆熱心に聞き入っていました。

“いかに情報を生かして紙面に活かすか”が最大のテーマであり、集めてきた各自のテーマをみんなで話し合って絞りこみ、記事の内容・文章を吟味充実し、レイアウト上での注意点として、紙面の中で構成上のルールをつくり、誰もがひと目で記事のポイントをつかめるよう、視線の流れを促すこと。たとえば写真をうまく利用したり、タイポグラフィー（書体）でいろんなアクセントをつけ、ほどよい余白空間をとること等、情報を活字にして伝えるおもしろさを各自が持つ事が大切だと言われた。

そういった意味では、“福居”は、他の団体等が発行している会報等のものよりは、大変出来の良いグレードの高い広報誌、とのお褒めの言葉をいただき、皆鼻高々でありました。そして広報誌とは“会の活動内容を把握するための報告書であり、参加する会員の仲間意識の連帯感を高め、日頃なかなか話しあえない会員同士の意見交換の場という大きな役割がある”事を再認識した次第であります。

また、我々の質問に答えて、インタビューの際の注



身ぶり豊かに熱心に説明して下さった森下さん

意点なども、いろいろお話いただきました。

他に制作上のちょっとしたコツ（我々にとっては大きなポイント）として、“ため記事”というものを日頃から準備しておく事によって、たとえば締切日に原稿がどうしても間に合わなかった時とか、話題に欠け、記事が不足した時など、どうしようもない場合にこの“ため記事”を利用する。そんな極意まで教えていただきました。

プロの森下さんにはさほどではない事でも、我々素人には、大変参考になり、多くの事を学ばせていただいた研修でありました。メディア委員会は、今後とも興味のもてる楽しい紙面づくりを目指して、ガンバリますので、会員の皆様には、ご協力の程よろしくお願い致します。



話しに聞き入り、メモをとるメディア委員

6月例会 市長と語る会 (H10.6月19日)

毎年の恒例行事となっています「市長と語る会」が、今年も6月19日(金)に商工会議所ビル地下国際ホールにおいて開催されました。今年は酒井哲夫福井市長、福井市都市政策部から舟木壽部長、そして福井駅周辺区画整理事務所からは南京喜代治所長におこし頂きました。

まず、田中義乃青年部会長より挨拶があり、続いて三村貞二まちづくり推進室長から、これまでの青年部の

のまちづくりに対する考え方を含めた、これまでの活動報告とこれからの活動方針の発表がありました。そして酒井市長より行政担当1期目の感想と、これから始まる2期目についての意気込みを熱く語って頂きました。

そのなかで酒井市長は、これからの福井市を県都にふさわしい街にしていきたい、特に福井城跡周辺地区整備計画には是非青年部にも協力してほしいとのお話

もあり、我々も市長の情熱のこもったまちづくりに対して、何かお手伝いが出来ればと皆一様に思いました。

そして懇親会の席では、お三方を囲み和やかなムードの中で、お酒も進み話も弾んでおりました。特に酒井市長は我々一人一人の話に耳を傾け、おだやかながらも熱い口調で語り掛けてくださいました。

最後に森永克彦副会長より、お三方に対しお礼の挨拶があり、和気あいあいの雰囲気の中で終了となりました

市の財政難が叫ばれ、機構変革の激流の中、超多忙な毎日を送られている酒井市長であります、熱い語り口調の中に今後に対する確固たる意志を感じ取った我々でありました。

例会・研修委員会 金木 正隆



7月例会 和気あいあい、三単会交流会 (H10.7月22日)

行って良かった、和気あいあいの三単会交流会

去る7月22日、武生・鯖江・福井合同の三単会交流会が、120名の参加を得て、にぎやかに開催されました。

最初に福井県商工会議所青年部連合会、奥山会長が挨拶に立ち、厳しい経済環境の中、我々青年部が元気を出す事が大切、青年部の元気が地域の元気を取り戻すと力説。地域のため、街のため三単会交流会をお互いに有意義な場にしていこうと

語られました。また福井会田中会長は、縁を大切に、厳しい環境を打破するために元気で、そして知恵を働かせていこう、また本日は積極的に自己アピールを！と訴えました。

次に10月16日・17日の近畿ブロック鯖江大会のプレゼンター

ションが行われ、鯖江会のメンバーがのぼり旗を振り上げて元気に登場、「全員の参加登録を！」と訴えました。

乾杯の後、アルコールが緊張をほぐし各テーブルでは、にぎやかに対話がはずんだ。「〇〇〇からビジネスチャンスをつかもう。」とのテーマでグループ討議に入った。グループ別に違ったテーマが与えられ、ユニークで楽しい、又ちょっとHな発想がとびかい、会場は大いに盛り上がりました。

最後に、武生橋本会長が、「近畿ブロック鯖江大会を大成功させよう！」と一本締めで締めくくりました。10月の「近畿ブロック鯖江大会」には福井会からも奮って参加して、大いに盛り上げましょう。

私自身、三単会交流会は初めての参加でしたが、にぎやかで大変楽しく、時間のたつのが早く感じました。ただ当福井青年部の参加が39名と少ないのが残念でした。

松本 公彦



サンバのリズムに今年も熱狂!! (H10.7月31日)

フェニックスまつりサンバタイム

音と光のページェント・真夏の夜の祭典、福井市民が参加できるイベントのフェニックスまつりが、去る7月31日開催されました。

青年部も「サンバタイム」という形で3回目の企画参加となりました。

過去、青年部では「足羽川ハートランド」イベントで、市民が参加しやすいリズムでサンバタイムを2回



行い、老若男女を問わず参加していただける手応えを感じておりました。

フェニックスまつりにおいては、見て楽しむだけでは少々マンネリになり、感動が伴わない等課題が出てきましたので、この成果をふまえ、フェニックスまつり再興の起爆剤としてサンバを考えてきました。

1年目は生バンドをいれてフィナーレを飾り、2年目は会場2カ所で、本場ダンサーのステップを見ながら練習し、フィナーレにはメインステージに移り会場を大ブレイクにしました。

この練習のとき、ミニステージに上がり、パフォーマンスに参加していただいた方にインタビューしてみると、「最初は恥ずかしかったけど、ステップを踏むにつれて、楽しく気持ちよくなってきた」ということです。自分なりに曲に合わせて体を動かすだけでいいんです。汗をかいて、恥をかいて、新しい自分が見えてくるんです。一步踏み出す勇気が、まつりも福井の街をも変えていけるのだと思います。

今年は、午後8時から9時まで、仁愛女子高前のミニステージでステップを練習し、メインステージで9時20分までのサンバタイムで大ブレイクの予定でしたが、観衆がステージに押し寄せ、市民や我々が踊るスペースがなくなり、本場ダンサー達のダンス・コンサートになってしまいました。

また、サンバタイムに先立ち、会場3カ所に設けられたサンバメイクは好評で、特に若い女性には列ができる程うけていました。ペインティングすることで、本当の自分をさらけ出しフェスティバルに参加できるからではないでしょうか。

私的な意見ですが、民謡、サンバとも団体毎にオリジナルダンスを創作して祭りに参加するという事にすれば、作り上げる達成感、団結力が生まれ、新しいフェニックスまつりとなるのではないのでしょうか。市民が楽しめるフェスティバルは市民レベルで参加できるよう、市民の声を聞く必要があるのではないのでしょうか。

街づくり推進室 サンパウロ



看護婦?ピカチュウ?……夏合宿 in ガラガラ山

(H10. 8月22日~23日)

「どうするやの、仮装」まわりでこんな声が聞こえる。今年のキャンプはなにやら不安をかかえて始まった。時は8月22日と23日『夏合宿』と銘打ったYEGイベントが開催された。今年のコンセプトは環境を考えた、ゴミなしキャンプ!

ガラガラ山のほとんどのテントサイトを占領して、今年もキャンプが始まった。日頃から慣れている会員もいるが、一年に一度、テントの虫干しを兼ねて参加する初心者がほとんど。みんなテントの設営から悪戦

苦闘。天候不順の今年にあっては、初めてと言っていいカンカン照りの土日。お父さんは汗だくである。普段いたれりつくせりの生活に感謝する一瞬である。

お決まりのパーベキュー。サザエやイカが食卓にならぶ。自前のコップを持ち、生ビールの前に行

列ができる。清川委員長の趣旨をよくみなさん理解して、使い捨ての道具はほとんどない。ゴミを出さずに

キャンプはできることを私たちも意識させられた。これをいつも実践できるといいなと感じた人も多かったのではないだろうか。

さて、目玉の仮装懇親会である。中には仮装しなくてもそのままOKという人もいたようだが、なんのなんの、みんなけっこうはまっている。優勝したのは、看護婦に扮した竹下ファミリー。豪華賞品にだまされ?5時間をかけ、製作した注射器を手に出産シーンを再現。会場を異様な雰囲気の流れる。吉岡ピカチュウは三人目の子供の出産をほったらかしての参加、すばらしいできで、準優勝。賞品のゲームソフトをゲット。だが家にゲーム機がないとのこと、後日ゲーム機をせがまれることと想像できる。ともあれ大盛況のキャンプファイヤーであった。

翌日は会場近くのミニサッカー場でドッチボール、サッカーを楽しみ、家族不幸をしている会員にとっては、よい家族孝行になったように思う。

ああ~明日からの仕事が・・・つらい。

「松」記

8月例会 青年部にももの申す

(H10. 8月19日)

「会議所の議員は青年部に会員を出さんのやったら、議員なんかやめなさい。」青年部の名物会長であった林逸男氏は力強く語り始めた。

8月例会は19日、不動産鑑定士の林逸男先輩に講師をお願いして開催されました。不動産鑑定士を自らの生業として仕事を始めた当時、「母から、そんな他人さまの地面の値段決めてお金もらうなんて、生活できるんかいと言われた」というエピソードから始まり、不動産鑑定の仕事の詳細を我々にわかりやすく説明していただきました。

土地の評価は、その効用が最高度に発揮される可能性を前提に把握される価格を標準として形成される。私にとっては何がなんやらよくわからん世界の話に、はじめは、「眼に力を入れていない」と思っていたのですが、優しい林先輩は一つ一つをかみ砕くようにレベルを我々に合わせて、先輩の自宅の資料まで出して解説していただき、本当によく理解できたように思います。

後半は、最近の青年部に思うことをまとめていただきました。青年部に在籍して、多くの友を得、たくさん人脈をつくれたこと、自分を磨き成長させることが、周りも会社を良くしていくこと、などを語られ、会長をしていたことが要因ではないが、売上も上がり会社も発展したとのこと。我々に、青年部活動とは?という素朴な疑問に明快な解答をいただいたように思いました。また、「商工会議所と青年部は親子の関係であり、会議所の議員たる者、青年部に会員を入れることは義務のようなものだ」と、エールを送られ、今後の会員増強活動に力を入れていかなければと改めて感じました。

林先輩から見ると、今の青年部は何をしているのかいなど感じられるかもしれませんが、見捨てることなく見守っていただきたいと切に願うものです。土地のことで問題が生じたときは、林不動産鑑定所がかけ込み寺です。気軽に先輩を頼らせていただきたいと思えます。

「松」記

誰にも聞けないパソコン用語 (その2)

“知らないの~”と言われたいために。

パソコンは色々な利用を想定して多様な機能を装備していますが、その中でも通信に対する機能はハイスピードで高機能になり、さらに低価格に向かっています。これに加えて、通信環境についても職場だけに留まらず一般家庭でもデジタル回線が使えるようになるなど普及拡大が進んでいます。

これらを背景にしてパソコンのネットワーク化が進み、結果としてLAN構成や、インターネットの利用が盛んになってきました。

そこで、今回はパソコン用語の中でも難解なネットワーク関連、特にインターネット関連の用語を取り上げます。

■ ネットサーフィン

インターネットに現存するホームページは、一説には1億ページ(トップページのみ)といわれるほど膨大な情報量がありますが、このインターネットホームページの海を、波乗りのごとく次から次へ見て歩くことを「インターネット海での波乗り」ということでネットサーフィンといいます。

■ プラグイン(plugin)

先に説明したブラウザが標準的に持っている機能では対応できない新しいサービスを利用するために、後から補強する機能対応のソフトのことです。

たとえば、ビデオのような動画を表示する方法は各種存在しますが、新方式の登場や機能アップのたびにブラウザ本体を毎回更新していくのは大変なので、メーカーはその機能単位で小さなサイズのプラグインソフトだけを雑誌の付録CD-ROMやインターネット上で提供しています。

お目当てのホームページで画像や音声、ビデオ画像などが再生できないときはプラグインがインストール(組み込み)されていないか古い場合があるので要注意です。

■ メーラー(Mailer)

ネットサーフィンと並んでインターネット利用の中心となっている電子メールを利用する際に必要となる電子メールソフトのことです。

インターネット創生期からあるメニューなので、市販されているものから無料のフリーソフトまで選択肢は広範囲に及びます。そのため各人の好みに左右されるので初心者の方が一番迷うところですが、私のお薦めは無料で手に入るものとしては操作性の簡単さからマイクロソフト社の「マイクロソフトメール」、市販ソフトでは安定度から「Eudora Mail」(ユードラメールと読む)をお勧めします。

メーラーで文を書いて送信すれば、相手のプロバイダの“受信箱”に届きます。相手側はメーラーを起動して“受信箱”に接続すれば、メールは自分のパソコンに入り、読むことができます。

■ メールリスト(Mailing list)

電子メールの基本は1対1の電子郵便ですが、特定の宛先に送ることで、登録されているメンバーに同じ内容のメールを一斉に送ってくれる機能のことです。たとえば、青年部にも「fukui-yeg」というメールリストが開設されており、メンバーの交流場所になっています。

参加メンバーとして登録した後「fukui-yeg@fukui.isp.ntt.co.jp」宛に発信されたメールは、参加メンバー全員に同時に行くので、一カ所に集まることなく意見交換の場として利用できることとなります。

なお、青年部メールリストに新規参加のご希望があ

ればメディア委員会までご連絡ください。

■ ネチケット

インターネットというのはパソコン社会とよくいわれますが、人間同士が活動する場所なので、実社会と同様のエチケットが必要となります。

このエチケットのことを「ネットワーク上のエチケット」=「ネチケット」と称しています。特に、電子メールという文字媒体で、発言、質問、回答という実社会と同様のコミュニケーションを実現するメールリストでは、書き方や発言方法、運営などにネチケットが必要となります。

■ プロバイダー

インターネットを利用しようとする場合、学校関係や研究機関を除いてはインターネット接続サービスを提供している事業者へ申し込むこととなりますが、この事業者のことをプロバイダーといいます。

厳密には学術関連の接続をとりまとめている大学や、商工会議所のような会員サービスのためにインターネット接続を提供しているところもプロバイダーなのですが、現在では一般的に商用接続サービスを提供する会社を指しています。

福井県内にも全国をベースとする会社や、県内中心の会社まで20社を越すプロバイダーがサービス提供しています。

選び方としては、実際につないで利用しているところを見て納得の上選ぶのが無難ですが、話し中の頻度、つながった後のスピードなど(パフォーマンス)と価格は比例するものと考えてお選びください。

■ モデム

パソコンを電話回線につなぐ際に必要となる機器です。最近ではパソコンに最初から標準搭載されているモデルもあるので、最初からインターネットを利用するつもりで購入する際には、モデム内蔵モデルを選ぶのもよいと思います。ただし、通信速度ではデジタルのISDNより若干遅いので、現在の電話回線を変更しないまたはできない方にお勧めです。

■ モジュラージャック

モデムなどの通信機器を電話回線に接続する場合のコンセントです。

最近ではISDNやLANのためのジャックも似ているので、よく間違いますが、アナログの一般電話の場合は4極2芯という切れ込みが4つあり線が2本あるタイプです。

■ ダイアルアップ

インターネットは本来常時繋ぎっぱなしで利用するのが本来の使い方でしたが、1994年頃から現在のような電話回線やISDNにより、必要なときにだけ繋いで利用するダイヤルアップ接続が始まりました。これにより、インターネット利用が爆発的に広がりました。

いかがでしたか。次回は身近で遠い「ワープロ」を取り上げる予定です。

メディア委員会 堀田雅一
E-Mail: horita@fukui.hkr.ntt.co.jp



サンタクロースと白夜 の国フィンランド

あじさい会 会長 淡島 洋

私は、国際ロータリーのプログラムと多くの皆様のお影様で、今までに私たちの生涯にない6週間というすばらしい北欧経験をさせていただくことができました。そして、私は団長として今回極めて優秀な4名の団員 鈴木忠司、常田信一、出口草子、植村久子君を持つことができ大変幸せに思います。また、長期のハードな研修旅行にも関わらず、全員が健康で無事帰国出来たことに驚きと感謝を致しております。

私は次の3つの目的を持ってフィンランドへ行きました。

①森と湖を代表とする自然を体験する。②経済状態を見る。③人々の生活をあじわう。

そこで①については、自然は日本とほぼ同じ面積の国土を持ち、まさしく森と湖の国です。高い山はほとんどなく海拔100~350メートルの丘が連なっています。その丘も岩盤が堅くて氷食によっても削られにくくて残った部分ですから大小の岩がごろごろしています。従って期間中鉄道のトンネルは数個しかなく、延べ2000キロ以上車で移動しましたが、1つのトンネルもありませんでした。気温は冬は-40℃まで下がり、夏は+30℃位です。湖と湿地帯の国土ですから湿度は高く、夏には蚊が大量に発生するそうです。又、大きな川はなく急流もほとんどありません。

②経済は1990年を最高とすると現在は95%まで回復しています。その間大きな波がありましたが、1999年1月よりはじまるヨーロッパ11カ国による通貨統合ユーロを期に、あらゆる産業がそれに向かって準備をしていました。そもそも500万人の人口ですから自国での商売には限度があり、以前よりヨーロッパはもとより南北アメリカ・アフリカ・東アジア・オーストラリアと全世界を貿易の相手にしていました。

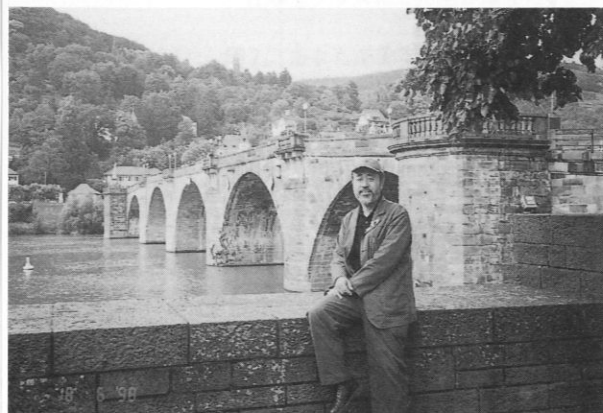
③生活は全般的に日本よりやや裕福に思われます。我が国とほとんど同じ面積ですから、そこをインフラ整備しなければいけないので、最高税率は50%ですが、30歳で、多い人で70万円位の給料で税金が35万円取られます。しかし、社会保険料はなく、教育費、病院費、高速道路などは無料です。又定年は60才で、その後は年金生活になりますが、夫婦2人で年に2回ぐらい海外旅行が出来るくらいの額が支給されるそうです。住宅は500~600坪の広さの敷地に5LDK位ありサウナや床暖房、食器洗い機等が標準装備です。

フィンランド人の対日感情は極めて良く、それは2度の大戦とも日本が極東で威力を発してくれたお陰で、フィンランドでは大きな戦いがなくて被害がほとんどなかったそうです。また、多くの人は英語を話しますが、発音が日本人のそれと良く似ていて、とても親切でシャイなところまで日本人的な人柄です。機会があれば再び訪問したいと思います。

ホストして下さった全てのホストファミリーの方々に心より深く感謝いたします。又、多くの企業や博物館・美術館など施設を訪問したり、ラハティ、ランミ、タンペレ、ペリカラ、トイヤラ、パルキアコスキ、トゥルク、ユバスキュラ、ラウカ、ライアポリ、クーサモ、ロバニエミ、サーリヤルビ、ヘイノラそしてヘルシンキと市や町や村を訪問しました。その内いくつかの首長が、自らOHPを使って自分の自治体の説明をして下さったりしました。そこでは、日本にはないすばらしい考え方や設備を目の当たりにして、良いことは一人でも多くの皆様に伝えたいと思います。

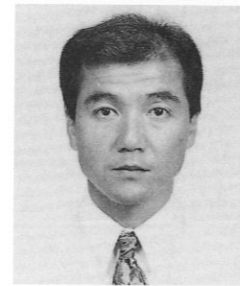
最後に私個人では小学生のころから一度会いたかった、あのサンタクロースと話をしてツーショットで写真を撮られたことと、中学の地理の教科書にあった白夜を、自分の目でみる事が出来たことをとても感動しています。

私たちは自分の生涯にこのすばらしい体験を生かして活動し、生活する事をお約束いたします。



よろしくお願いします 新入会員紹介

'98年6月~9月入会会員



おお くさ ぜんいちろう
大 草 善 一 郎

O型 S38.3.10生
勤務先：大草善一郎建築計画研究所
TEL：0776-27-9655
FAX：0776-27-9656
業 種：建築設計
メディア委員会



やま もと なお え
山 本 直 恵

A型 S42.7.11生
勤務先：アーチザン&パートナーズ
TEL：0776-28-0283
FAX：0776-28-0283
業 種：広告デザイン
会員交流委員会

し みず ふみ ひろ
清 水 史 博

O型 S47.12.16生
勤務先：三和メッキ工業(株)
TEL：0776-23-1639
FAX：0776-27-4726
業 種：表面処理業
会員交流委員会



けい まつ ゆう じ
慶 松 裕 司

勤務先：ケイマツ・インターナショナル
TEL：0776-75-2215
FAX：0776-75-2215
業 種：中古品輸出入
例会・経営研修委員会



まつ もと きみ ひこ
松 本 公 彦

A型 S32.9.15生
勤務先：ホクコンアーステクノ(株)
TEL：0776-38-3833
FAX：0776-38-3809
業 種：コンクリートパイルの製造販売
メディア委員会

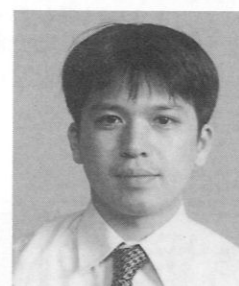
ほり かわ ひで き
堀 川 秀 樹

O型 S33.10.21生
勤務先：(株)アングル
TEL：0776-24-3679
FAX：0776-24-5433
業 種：飲食業
例会・経営研修委員会



やま だ しん いち
山 田 真 一

A型 S30.6.7生
勤務先：大須賀技建(株)
TEL：0776-34-8855
FAX：0776-34-8856
業 種：建築業
例会・経営研修委員会



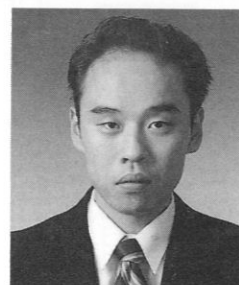
みや もと たけし
宮 本 武

A型 S46.2.7生
勤務先：(株)北陽製作所
TEL：0776-51-5858
FAX：0776-51-5859
業 種：エレベーター製造
メディア委員会



むら かみ ちか こ
村 上 千 夏 子

A型 S40.6.30生
勤務先：社会保険労務士村上千夏子事務所
TEL：0776-59-1686
FAX：0776-59-1646
業 種：社会保険労務士
例会・経営研修委員会



おざ わ けん じ
小 沢 賢 治

O型 S44.6.25生
勤務先：(株)小ざ和
TEL：0776-26-3247
FAX：0776-26-3289
業 種：和装製品卸
総務委員会

男の3分クッキング

三上 徹

リレーコラム

大好評につき、2回目となりました男の3分クッキングのコーナーです。

味覚の秋ということで、今回はきのこ料理のいちばん人気“きのこづくしの炊き込みご飯”を作ってみましょう。★4種類のきのこでおいしさ10倍、なめこのとろみがポイント★

■材料(4人分)

- 生しいたけ……4枚
- えのきたけ……1袋
- しめじ……1パック
- なめこ……1袋
- サラダ油……大さじ1
- 酒……大さじ2
- しょうゆ……大さじ2
- 米……3カップ
- だし汁……約2 1/2カップ
- 塩……適宜
- 絹さや……適宜
- ぎんなん……50%

■作り方

- ① しいたけは軸を除き、薄切りにする。えの

きたけは根元を切り落として半分に切る。しめじは石づきを除き、小房に分ける。なめこはざるに入れて水の中でふり洗いし、水けをきる。

- ② 鍋に油を熱し、①のきのこを入れて炒め、油がまわったら酒、しょうゆで調味し、1～2分煮立てて火を止める。ざるに上げて汁けをきり、汁はとっておく。
- ③ 炊飯器にといだ米を入れ、だし汁の一部に塩小さじ1弱、②の汁を混ぜて加え、炊飯器の3合の水の線までだし汁を足し、普通に炊く。
- ④ 絹さやは筋を取って塩ゆでし、1cm幅に切る。ぎんなんは半分に切る。
- ⑤ ③が炊けたら器に盛り、絹さやとぎんなんを飾る。

以上、おいしい炊き込みご飯の作り方でした。次回、第3回男の3分クッキングコーナーでは、冬の王様蟹を、栃谷賢一郎シェフに料理してもらいましょう。それではさようなら。

YEG 伝言板

私の知ってるおいしいお店

■焼肉&レストラン「牛々亭」

福井市花堂南1-8-5
 福鉄福武線ベル駅東110メートル
 肉質にこだわりを持っており、抜群の美味しさ。ハンバーグやオムライス等レストランメニューも揃っており、お子さま連れでもOK。とにかく一度ご賞味あれ。

ホクコンアーステクノ 松本公彦

■ラーメン「一龍」

福井市中野町3-810
 杉の木台団地入り口
 ラーメン通にはよく知られたお店です。スープはこくがありながら、後味すっきりでしつこくない。おすすめは“ニンニク・メンマ・モヤシラーメン”。いつも混んでいるので(特にお昼や休日)時間にゆとりを持ってお出かけ下さい。

江守康利

■TOT

福井市 TEL 34-5531
 ユニークなイタ飯のお店をご紹介します。場所は足羽川沿いで、8号線からやや東に見える一風変わったコンクリートの建物の1階。入り口には見落とすような小さい看板が一つ。店内にはメニューもなく、好みと予算に応じてシェフが料理を決めてくれる。味は本格的でGOOD。通だけが知る隠れ家的存在です。

Y・F

安心をかたちに
 自動車保険・火災保険・生命保険

カナキ保険事務所

福井市毛矢2丁目9-10 TEL 0776-35-6663(代)



損害保険 東京海上、日新火災、興亜火災、三井海上
 日本火災、安田火災、AIU保険
 生命保険 アリコジャパン、東京あんしん生命
 三井みらい生命



自由なる創意の結果が、
 大いなる未来を拓く。

国際品質保証規格ISO-9001 認証工場
 国際環境規格ISO-14001 認証工場

清川メッキ工業株式会社

KIYOKAWA PLATING INDUSTRY CO.,LTD.

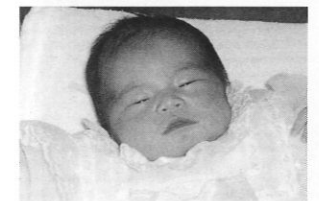
福井市和田中1丁目414 TEL 0776-23-2912(代)

赤ちゃんおめでとう!!

●吉岡 正修さん

ちか
 長女 千佳ちゃん
 平成10年8月25日生

◆初の娘で喜んでいます。



新事務所オープン

●高倉 政宏さん

造家屋
 木土あい楽

〒910-0854 福井市御幸3-14-25
 TEL 0776-21-8688
 FAX 0776-21-6566

自然素材をつかった住まい造りは、体にやさしく心にもやさしい、そして地球にも。そんな思いを込めて事務所を造りました。目で見てさわって体験する。そんな提案型事務所に、ぜひ一度足をはこんで下さい。



●山岸 寛士さん

マリージョゼ
 セラ武生店

TEL 0778-21-5770

マリージョゼ美容室の5店舗目となる武生店は、マリージョゼグループの中でも一番の大きさ。スタッフも8名と武生でナンバーワン(?)。当然ながら美人揃い!! タケフシビイタウンの中にあります。



編集後記

メディア委員会にも新戦力が加わり、その分今回の誌面には一段と熱がこもりました。さらにおもしろい企画を、ということで多方面の取材にも奔走しました。小川誠子さんの取材では山岸委員長自ら東京まで出向き、飛行機の遅れで危うくインタビューがフイになりかけたそうです。また、会員アンケートでは会員交流委員会の協力を得、興味あるデータをいただきました。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

メディア委員会 副委員長 福岡 靖

セラ武生店 OPEN

武生シビタウン内 ☎0778-21-5770



美容室
 マリージョゼ

MARIE-JOSE

この宮本店 TEL(0776)23-2515
 デュオ北の庄店 TEL(0776)27-2522
 リーベ駅正面店 TEL(0776)28-3790
 ワイブラザ店 TEL(0776)52-5380

くらし、こころ…知・創・人。

地球に笑顔とやさしさを……



吉岡幸株式会社

本社 〒910-8622 福井市宝永3-22-5
 TEL.<0776>22-2211 FAX.<0776>21-4515

□鯖江支店 □敦賀支店 □三国営業所
 □金沢営業所 □鋼材センター □管材センター
 □建材センター □ねじセンター □丸岡センター

福井に“帰る”とほっとします 囲碁の小川誠子六段にインタビュー

プロフィール

小川 誠子（おがわ ともこ）
昭和26年4月1日、福井市 生。41年木谷門下。
45年入段、46年二段、49年三段、50年四段・平成
4年五段、7年六段。女流選手権者2回。61年女
流本因坊。62年女流鶴聖。棋道賞5回。夫は俳優
の山本圭さん。



かねてから酒井哲夫福井市長にお願いしておりました、囲碁の小川誠子六段とのインタビューがついに実現しました。

8月29日（土）のこのインタビュー実現のために、酒井市長及び秘書課の藤井様にご協力いただきました、感謝いたします。

* * * * *

■本日は、我々福井商工会議所青年部のために貴重な時間をさいて下さりまして、ありがとうございます。

さっそくですが、最近二世棋士が増えています、どう思われますか。また、ご自身の子供さんについて、碁打ちにしたいと思われませんか。

○小川さん：二世棋士が増えることは、非常にいいことだと思います。また二世棋士は強いですし、親の仕事を理解してもらえたとすることも喜ばしいことです。

私自身の子供に関しては、今はあまり興味をもっていないようで、絵画の方に興味があるみたいです。ですから無理にとは思っていません。

■ご主人（俳優の山本圭さん）も囲碁を打たれますが、ご夫婦の間での碁の役割はいかがなものでしょうか。

○小川さん：夫婦で碁を打つことはほとんどありません。ただ、インターネットで主人が打っていて、苦しくなる時、呼ばれることはありますけど…。(笑)

■初めて女流本因坊を取られた時のお気持ちはいかがでしたか。

○小川さん：碁は10の700乗の手があって、すごく奥が深いので、やっとスタートラインに立ったという気持ちでした。知れば知る程、碁はむずかしくなるので、もっと勉強しなければと思いました。

■福井の囲碁のレベルについてどう思われますか？

○小川さん：福井の囲碁人口はわかりませんが、レベルは高いと思います。碁のフェスティバルにも参加さ

せてもらってますので、将来がたのしみです。

■福井は大武前市長・酒井現市長と碁好きな首長が続いてますが、棋士活動においてメリットはありますか。

○小川さん：市長さんのご理解があると棋士活動が全然ちがいますね。碁は遊びの分野と思われがちで、応援して下さる方が少ないですが、普及の面でも非常に力を貸してもらっています。両市長との対局(?)も数多くさせてもらっていますよ。

■福井の現在の印象（良いところ・悪いところ）、また要望等がございましたら、お願いします。

○小川さん：福井の悪いところはありませんね。大変良くしてもらってます。福井の碁の本部に行きますと、“お帰りなさい”と書いてあって、いつも心がなごむんです。

福井って、住みやすさ日本一ですってね、たいへんうれしく思います。こういう時代ですから、福井の自然は大切にしたいですね。福井に“帰る”といつもほっとします。

* * * * *

1時間弱のインタビューでしたが、こちらが遅れたにもかかわらず、なごやかに対談して下さいました。

福井生まれですが、すぐに名古屋に行かれたとの事。福井弁のご縁で、大武市長とお知り合いになり、名古屋出身を福井出身に変えたそうです。また、囲碁は人生そのもの。碁を通じて多くの事を学び得たと話されていました。

この取材によって福井YEGとのパイプができたので、小川六段が来福の際には、是非青年部との懇談の場を設定したいものです。

(山岸記)